

B-12

出展団体名	大阪府立大学	
発表者所属	生命環境科学研究科緑地環境科学 助教授	
発表者氏名	谷川 寅彦	
発表タイトル	湿らず！緑化用灌水システムの新しいカタチ	
ねらい	[O] ビジネスパートナー探し	
	[] 共同研究パートナー探し	
	[] 共同製品開発のパートナー探し	
	[] 所有技術シーズの顧客（ライセンス）探し	
	[] その他（ ）具体的に	
キーワード	①不織布給水機	②低正圧
	③灌漑法	④撥水、親水チューブ
要 旨（アピールポイント）		
<p>不織布給水器（チューブ）を使用する低正圧地中連続灌漑法は、簡単で省エネかつ自動的、節水的であり、環境破壊の原因でもある降下浸透損失水をゼロにまででき、環境負荷は著しく低く、有機栽培などアグリ、屋上緑化など都市緑化にも好適です。この灌漑法は、元々、国内向けには施設園芸など、海外では乾燥地帯の砂漠化抑止・緑化などへの適用を考えて研究が進められ、コストも低く適用範囲は幅広いといえます。実用上の問題点（ヌメリ現象、チューブ内の排気の困難等）を解消するため、給水チューブ壁面に防汚性の向上と共に給水性能を安定させる親水性処理を主に施し、チューブ内空気排出を容易にするため撥水性を一部分施すコンビネーションを考案しました（特許申請中）。それにより、低コストで簡単に実用性能を得ることが出来ます。現在では実用化の第一歩としてプランタ用緑化セットとして販売を始めました（'06年9月現在）。</p> <p>なお、対抗技術としては、点滴灌漑や水が染み出る式の（高圧型）チューブなど、さらに、底面灌水式、親水性シート等利用緑化方式などがありますがいずれも本法の“湿らず”に対抗するのは難しいと言えるでしょう。</p>		
特記欄		